

FirstGlobal メッセージ

siesta

2015.11月号 vol.150

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピック

永守さん

8月31日の日経の朝刊に日本電産の会長兼社長の永守重信さんのインタビュー記事がありました。「10年くらい前か、会社も大きくなって『育成するには時間がかかる。外には優秀な人もいるだろうから、そういう人を入れれば楽になる。』と思った。で、そういう人を入れだした。(中略)」「結論からいうと錯覚だった。そういう経歴の人が、経営がうまいとは限らない。外資に3年いたとか、それだけでは難しい。やらせてみたら『これだったら自分が育てた生え抜きの方が上だ』と最近わかった。(中略)時間はかかるが仕方がない。世の中、そんなに人材はいないよ。」とのことでした。この記事を読んで、こんな偉い人とお考えのこと、一緒なんだ、とひとり悦に入っていました。

弊社のお手伝いしているクライアントさんでも、経営者や人事担当の幹部がよく「うちの管理職はレベルが低い」とか「できが悪い」というような意味のことをおっしゃいます。実際そういう方もいないわけではないですが(笑)、かといって他社の管理職が優れているか?外部から引っ張ってくる人が凄いか?という経験も含めて言わせていただくと、そうである確率はきわめて低い、というのが実感です。

永守さんのおっしゃるとおり、時間はかかり、イライラするかもしれませんが、プロパー(生え抜き)の人材を辛抱強く育てたほうが最終的には近道であるのは間違いないでしょう。ただ、文字通り「隣の芝は青く」見えています。そう見えているから、なかなか価値観は変えられません。

拳句の果ては、見限った方を切ろうとして、労働紛争になりご相談に來られます。原因の本質は、「外(自分以外)」にあるのではなく、「内(自分)」にあるのですが、位の高くなった方ほどそれに気づいていただけません。もしかしたら気づいているのかもしれませんが、認めたくないのかもしれませんが、それを気づかせるのも我々の仕事ではあるのですが。。むずかしいものです。



ワールドカップラグビーの日本の勝利で、にわかにはPKを蹴る五郎丸選手の蹴るまでのルーティンやメンタルの準備に注目が集まりました。前から大事と言われていることばかりですが、何か万人受けする出来事がないと注目されないんですね、やっぱり。